



(公財) 山階鳥類研究所

〒270-1145 千葉県我孫子市高野山115  
電話：04-7182-1101 FAX：04-7182-1106  
<http://www.yamashina.or.jp>



## 第20回山階芳麿賞

# 江崎保男 兵庫県立大学 教授・兵庫県立コウノトリの郷公園 統括研究部長 への贈呈を決定しました

第20回山階芳麿賞を江崎保男（えざき・やすお）氏に贈呈することを決定しましたのでお知らせいたします。山階芳麿賞は国内において鳥学および鳥類保護に顕著な功績のあった方（団体を含む）を讃える賞で、平成4（1992）年から実施しています。



江崎保男 兵庫県立大学教授・  
コウノトリの郷公園統括研究部長

江崎保男氏への贈呈理由（添付資料(1)参照）のあらまは、多種多様な鳥類・鳥類群集など多岐にわたる生態学的研究を行い、保全の面でコウノトリの野生復帰に貢献し、さらに土木工学と生態学の融合を目指した応用生態工学の提唱と発展に尽力された功績を讃えて、山階芳麿賞を贈呈するというものです。

### 山階芳麿賞（やましなよしまろしょう）

日本の鳥学及び鳥類保護に顕著な功績のあった者（団体を含む）を讃え、わが国の鳥学の発展並びに鳥類保護の振興に寄与することを目的として、平成4（1992）年に、山階鳥類研究所財団設立50周年を記念して設けたのもです。賞の名称は、山階鳥類研究所の創立者、山階芳麿博士の功績を記念しています（添付資料(3)をご参照ください）。

### 記念シンポジウムを開催します

第20回山階芳麿賞の贈呈を記念したシンポジウムを下記日程で開催いたします。詳細については、あらためてご案内いたします。

【日時】平成30（2018）年9月29日（土）

【場所】東京大学 弥生講堂

東京都文京区弥生 1-1-1 東京大学農学部内

【参加費】無料

【申込み】不要

【主催】(公財) 山階鳥類研究所

【共催】朝日新聞社

※なお、賞の贈呈は、7月2日（月）に山階鳥類研究所の東日本・中部日本地区賛助会員の集いにあわせて開催する贈呈式において行います。

※この資料に掲載した写真（デジタルデータ）をご希望の方は下記までご連絡ください。

本件についてのお問い合わせ先

(公財) 山階鳥類研究所

広報コミュニケーションディレクター：平岡考

電話：04-7182-1101 FAX:04-7182-1106

携帯電話：090-5332-2769

## 江崎保男氏への山階芳麿賞贈呈理由

山階芳麿賞選考委員長 奥野卓司

江崎保男氏は、多種多様な鳥類・鳥類群集などについて多岐に亘る生態学的研究を行いました。この中で特にめざましいものはオオヨシキリの研究で、中でも西欧の研究者達と競った、資源防衛型一夫多妻の成立機構論争に決着をつけた研究は、イギリス生態学会の伝統ある学会誌に掲載され、かつ J・R・クレブスらの権威ある教科書に引用され続ける日本人研究者による数少ない論文であり、日本の鳥類研究の水準の高さを世界に知らしめました。

保全の面では、江崎氏はコウノトリの野生復帰において大きな貢献をされました。兵庫県立コウノトリの郷公園の設立に尽力した後、同公園研究部長として、研究面では蓄積された野外データの論文公表と国際発信に努める一方、研究で培った深い生態学的素養と、自ら執筆したランドデザインに基づき実践指揮をとると共に、多様な地元ステークホルダー間の調整を行う事により、野生復帰を成功に導いてこられました。江崎氏が主導して兵庫県立大学に設置された大学院地域資源マネジメント研究科は、コウノトリを地域資源と捉えて、鳥類の保全を地域社会の活性化につなげる企てに学問的な裏付けを与えるものです。

江崎氏はまた、防災のための土木工事が生物多様性に悪影響を与えるという、従来しばしば見られた状況を克服するために、土木工学と生態学の融合を目指した、応用生態工学の提唱と発展にも尽力されました。実際に土木工学的な視点で捉えた環境と鳥類の生態を結びつける研究を行うとともに、応用生態学会の幹事長として組織運営に尽力し、現在は同学会の会長に就かれています。

また江崎氏は 2010 年から 2013 年までの 4 年間、日本鳥学会会長をつとめ、2012 年に 100 周年を迎えた同学会の 100 周年記念事業の実施を主導しました。さらに、従来から多くの鳥類研究者を育てるとともに、アマチュアの指導にも力を注いでこられました。

このように江崎氏は、生態学で目覚ましい研究業績を上げるとともに、保全上も重要な仕事をされ、社会との結びつきの点からも有意義な活動を行ってこられました。これらの功績をたたえて、山階芳麿賞選考委員会は江崎保男氏に山階芳麿賞を贈ることがふさわしいと判断いたしました。

## 第20回山階芳麿賞受賞者

### 江崎保男博士

えざき・やすお

1951年12月12日大阪府生まれ

専門：動物生態学

- 1976年 京都大学理学部卒業  
1981年 京都大学大学院理学研究科博士課程研究指導認定  
1985年 同 修了(京都大学理学博士)  
1989年 兵庫県教育委員会指導主事(自然系博物館設立準備室)  
1992年 姫路工業大学自然・環境科学研究所助教授  
兼 人と自然の博物館主任研究員  
1999年 同 教授 兼 人と自然の博物館主任研究員  
2001年 同 教授 兼 人と自然の博物館自然・環境マネジメント研究部長  
2003年 兵庫県立大学自然・環境科学研究所教授 兼 同上  
2006年 兵庫県立大学自然・環境科学研究所所長・教授  
兼 兵庫県立人と自然の博物館次長(2010年まで)  
2006年 兵庫県立大学環境人間学研究科教授(兼担, 2016年まで)  
2010年 兵庫県立大学自然・環境科学研究所次長・教授  
兼 兵庫県立コウノトリの郷公園研究部長  
2014年 兵庫県立大学大学院地域資源マネジメント研究科研究科長・教授  
兼 兵庫県立コウノトリの郷公園統括研究部長 現在に至る

#### 【主な著書】

『動物群集の様式』(C・エルトン(著)・共訳・1990・思索社) ◆ 『水辺の環境保全-生物群集の視点から』(共編・1998・朝倉書店) ◆ 『近畿地区鳥類レッドデータブック-絶滅危惧種判定システムの開発』(共編・2002・京都大学学術出版会) ◆ 『小林桂助コレクション鳥類標本目録』(共編・2006・兵庫県立人と自然の博物館) ◆ 『土木工学と生態学の壁はとりのぞかれたか?』(編・2007・応用生態工学会) ◆ 『生態系ってなに?』(2007・中公新書) ◆ 『自然を捉えなおす』(2012・中公新書) ◆ 『ダム湖の環境保全 III.』(共編・2015・京都大学学術出版会) ◆ 『コウノトリ野生復帰の手引書』(共編・2018・コウノトリの個体群管理に関する機関・施設間パネル)

#### 【主な学会活動】

日本鳥学会会長(2010~2013) ◆ 応用生態工学会会長(2018~) ◆ 関西自然保護機構理事(1996~2002)

## 山階芳麿賞について

山階鳥類研究所は、平成 4(1992)年 7 月に行われた財団創立 50 周年記念行事の一環としてこの賞を設けることとしました。日本の鳥学及び鳥類保護に寄与された、山階鳥類研究所の創業者・故山階芳麿博士の功績を記念して、この賞を「山階芳麿賞」と名付けました。

山階芳麿賞は、日本の鳥類の研究及び鳥類保護に顕著な功績のあったものを讃え、わが国の鳥学の発展並びに鳥類保護の振興に寄与することを目的としています。

受賞者は「山階芳麿賞」選考委員会で選考されます。受賞者は、隔年度、原則として 1 名とし、選考の結果該当者がいない場合には、その年度の表彰は行いません。選考委員会は学識経験者その他理事長が必要かつ適格と判断する者 (5~12 名) で構成されます。

表彰は山階鳥類研究所総裁・秋篠宮文仁親王が行い、受賞者には表彰状と山階芳麿賞記念メダルが贈呈されます。記念メダルのデザインは、表・山階芳麿博士肖像、裏・ヤンバルクイナのレリーフとなっており、受賞年と受賞者氏名が刻印されます。ヤンバルクイナは沖縄県で発見され、昭和 56 (1981) 年に山階芳麿博士らが新種として発表した山階鳥類研究所のシンボルの一つです。なお、平成 15 (2003) 年度からはさらに副賞として「朝日新聞社賞」(賞金 50 万円と盾) が贈られています。

歴代の受賞者は下記のとおりです。

回数	氏名	所属・職名	受賞年月日	備考
第一回	羽田健三	信州大学名誉教授	平成 4 年 7 月 3 日	H6 年 11 月逝去
第二回	松山資郎	山階鳥類研究所顧問	平成 5 年 7 月 5 日	H12 年 8 月逝去
第三回	中村司	山梨大学名誉教授	平成 6 年 7 月 5 日	
第四回	黒田長久	山階鳥類研究所所長	平成 7 年 7 月 5 日	H21 年 3 月逝去
第五回	中村登流	上越教育大学名誉教授	平成 8 年 7 月 3 日	H19 年 11 月逝去
第六回	正富宏之	専修大学北海道短期大学教授	平成 9 年 9 月 9 日	
第七回	樋口広芳	東京大学大学院教授	平成 10 年 7 月 4 日	
第八回	山岸哲	京都大学大学院教授	平成 11 年 7 月 3 日	現・山階鳥類研究所名誉顧問
第九回	藤巻裕蔵	帯広畜産大学教授	平成 12 年 6 月 17 日	
第十回	小城春雄	北海道大学大学院教授	平成 13 年 6 月 1 日	

第十一回	中村浩志	信州大学教授	平成 14 年 6 月 7 日	
第十二回	石居進	早稲田大学名誉教授	平成 15 年 9 月 23 日	
第十三回	由井正敏	岩手県立大学教授	平成 16 年 9 月 23 日	
第十四回	長谷川博	東邦大学教授	平成 18 年 9 月 23 日	
第十五回	立川涼	愛媛大学名誉教授	平成 20 年 9 月 23 日	
第十六回	森岡弘之	国立科学博物館名誉研究員	平成 22 年 9 月 23 日	H26 年 12 月逝去
第十七回	日本イヌワシ研究会		平成 24 年 9 月 23 日	
第十八回				
(特別賞)	橘川次郎	クイーンズランド大学名誉教授	平成 26 年 9 月 23 日	H28 年 5 月逝去
(特別賞)	小西正一	カリフォルニア工科大学名誉教授	平成 26 年 9 月 23 日	
第十九回	上田恵介	立教大学名誉教授	平成 28 年 7 月 13 日	